

マリンビジョンNewsは、サロマ湖地域の1市2町で構成するマリンビジョン協議会が、自然環境と共生した明るい未来を創造する漁村づくりに向けた活動を紹介する広報紙です。

◆ われらは海の子

海の日7月16日に、地元で獲れる海の幸をより知ってもらおうと、「われらは海の子～エビ・ホタテ編」が開催されました。

この事業は、佐呂間漁協の青年部の方などの協力もと実施されており、今回が3回目の開催となります。当日は小学生の親子など総勢30名が参加し、ホタテ養殖施設の見学、エビ籠漁や網おこし体験を行い、漁師さんが行っている作業を実際に肌で感じることで、サロマ湖で獲れる魚介の魅力を再発見することができました。



◆ アイスブーム見学

7月12日に湧別町と友好都市提携を結んでいるカナダ・ホワイトコート町からの訪問団と、訪問団のホームステイ先の子供ら計24人が、網走開発建設部の出前講座を利用してサロマ湖アイスブームの見学を行いました。

参加者らは、はじめに登栄床漁港で、サロマ湖で獲れる魚介やオホーツク海からサロマ湖内への流氷流入を防ぐ「アイスブーム」の仕組みなどについて、網走開発建設部網走港湾事務所の川村副所長より説明を受けました。



その後、陸上と海上の2班に分かれ、海上班は網走開発建設部の監督測量船はまなす(19トン)に乗船し、第1湖口付近を航行しアイスブーム施設を見学しました。

参加した訪問団一行からは『ホワイトコートには海がないので、サロマ湖の自然に驚きました。』、『実際にアイスブームを見てその仕組みがわかりました。』などと、声が上がっていました。

◆ 地産地消フェスタ

9月8日、北見駅南多目的広場で、『北見地産地消フェスタ 2012』が開催されました。このイベントは、北見地域の新鮮で安心・安全な地場農林水産物を地元の人へ知っていただきたいという目的から、漁協や農協、商工団体などで組織する北見市地産地消推進委員会が主催。

飲食ブースではご当地グルメのオホーツク干貝柱塩ラーメンのほか、ホタテ浜焼きやホタテご飯などが味わえ、直販ブースでは常呂産貝付ホテテや毛ガニなどの特産品を買い求める来場者で大賑わいでした。



【北見地産地消フェスタ 2012】

◆ 恵みの秋・収穫の秋

収穫の季節を迎え、地元産品を広くPRしようと 9月30日にトーヨータイヤサロマテストコースにおいて、『サロマ大収穫祭』が開催されました。海の幸や山の幸を特価で購入できるとあって、イベント開始前から多くの方が来場し、海産物の販売ブースの前には、つづら折りの列ができ大盛況となりました。



【サロマ大収穫祭】



9月22日の秋分の日、湧別町憩の広場で収穫の秋を祝う、湧別町産業まつりが開催されました。新鮮な海産物や旬な農産物を格安で販売する即売コーナーは開始前から長蛇の列となりました。地元で獲れた鮭とジャガイモでつくる「湧別鍋」も格安で販売され、瞬く間に完売となり大盛況でした。

【湧別町産業まつり】

◆ サロマ湖地域をPR！



9月14日から19日の6日間、サロマ湖観光物産振興協議会は「さっぽろオータムフェスト」に出展しサロマ湖地域の特産品などのPRを行いました。期間中は天候に恵まれ、ホタテ浜焼きは当初の販売予定を大幅に上回る盛況ぶりでした。会場にはサロマ湖地域マリンビジョンのパネルを設置して地域のPRを行いました。



発行 サロマ湖地域マリンビジョン協議会 2012.10.25
編集 サロマ湖地域マリンビジョン協議会事務局広報担当
〒099-6404 湧別町栄町112番地の1
湧別町総合支所産業振興課水産林務係
Tel 01586-5-3763 ・Fax 01586-5-2283
Mail sangyo@town.yubetsu.lg.jp

